

# 第107回 全国書道誌上コンクール出品要項

左記のとおり毛筆コンクール作品を募集します。奮ってご応募下さい。

## ◆一般部（高校生以上）

### 一、出品区分

- 一科審査会員
- 二科審査会員（師範）
- 無鑑査（教範）

- 一 科（書範）準四段
- 二 科（三段）準初段
- 三 科（一級）新人

※出品区分は、一月号の成績を基準とする。

※本会の毛筆部に出品していない場合は、所属団体での段級、資格または書歴を明記の上、該当する区分に出品すること。

### 一、作品寸法

《一科審査会員一科》

条幅半切縦（136 cm × 35 cm）

《二科・三科》※次ページ参照

条幅半切縦（136 cm × 35 cm）または条幅半切二分の一縦（68 cm × 35 cm）

※小さい作品を貼り合わせたものは不可

### 一、作品内容 漢字・かな・調和体

※一般部は、作品に出品票を必ず貼付し、必要事項を記入した出品申込書と一緒に出品料を添え出品すること。（必要な書類は、一月号送本時に予め各支局・支部に送付する。個人会員は本部事務局まで請求のこと）

## ◆教育部（中学生・小学生・幼年）

### 一、課題 自由。ただし書初めにふさわしい語句。（一月月例課題参考）

※中・二・三の書体は行書に限る。

※十二月の検定試験の会友合格者は「会友で」出品すること。

「会友で」出品すること。

### 一、用紙 条幅半切四分の一（68 cm × 17.5 cm）

### 一、出品料（二点につき）

- 一般部 一科審査会員 四、八〇〇円

二月末日までに本部事務局へ申込むこと。  
（詳細は、支部長または本部まで）

## ●表装料（税込み・送料別）

### 条幅半切・半切二分の一

五、〇〇〇円より

A～Eまで五種類あります。

### 半切四分の一

F、紙表装

G、綿表装

一、五〇〇円

二、八〇〇円

※月例競書出品作品は、審査の過程で印をつけることがありますので、表装はできません。

## 一、会長賞受賞者の特典

●教育部で六段以下の受賞者は一段階昇格を認める。

●現在小五年生以上で、幼年から通算して三回受賞した場合は会友を認定する。

※いずれも発表月から昇格する。

## 一、特別昇級の特典

一般部・教育部とも毛筆部一級以下の出品者は、全員一階級特進を認めます。

## 一、その他

○作品はすべて未発表のものに限る。

○一人何点出品してもよいが、特別賞受賞は一人一点とする。

○コンクール作品と月例競書を兼ねる事はできないので、それぞれに出品すること。

○一般部は、出品区分別・寸法別に審査の上、各上位入賞者については、昇格制度に基づき、昇格、昇段級する。（内規に定める）

○出品料は為替小為替にして作品と同封し書留で送るか現金書留による送金に限る。

（振替、その他は不可）

○成績は、本誌4月号に発表するほか、各団体別に通知し、賞品・賞状は4月号送本時に同封する。

○成績は、本誌4月号に発表するほか、各団体別に通知し、賞品・賞状は4月号送本時に同封する。

○成績は、本誌4月号に発表するほか、各団体別に通知し、賞品・賞状は4月号送本時に同封する。

○成績は、本誌4月号に発表するほか、各団体別に通知し、賞品・賞状は4月号送本時に同封する。

○成績は、本誌4月号に発表するほか、各団体別に通知し、賞品・賞状は4月号送本時に同封する。

○成績は、本誌4月号に発表するほか、各団体別に通知し、賞品・賞状は4月号送本時に同封する。

○成績は、本誌4月号に発表するほか、各団体別に通知し、賞品・賞状は4月号送本時に同封する。

○成績は、本誌4月号に発表するほか、各団体別に通知し、賞品・賞状は4月号送本時に同封する。

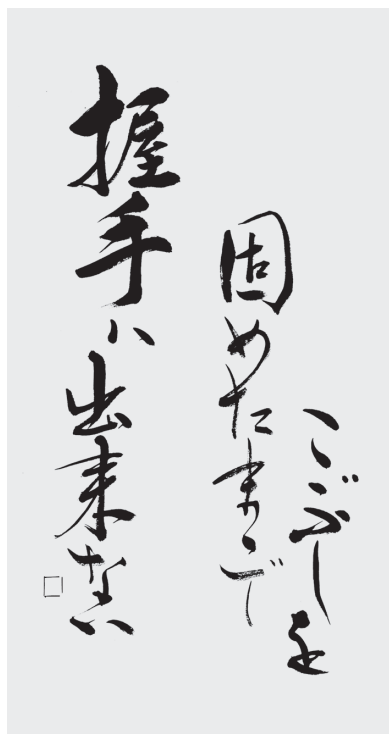
○成績は、本誌4月号に発表するほか、各団体別に通知し、賞品・賞状は4月号送本時に同封する。

○成績は、本誌4月号に発表するほか、各団体別に通知し、賞品・賞状は4月号送本時に同封する。

## 二科・三科参考手本（半切2分の1サイズ用）

▶二科・三科は、半切2分の1サイズまたは半切のどちらかで出品して下さい。課題は自由ですが、半切2分の1サイズを選択した場合、下掲の参考手本によりご出品いただくこともできます。

こぶしを固めたままで握手は出来ない



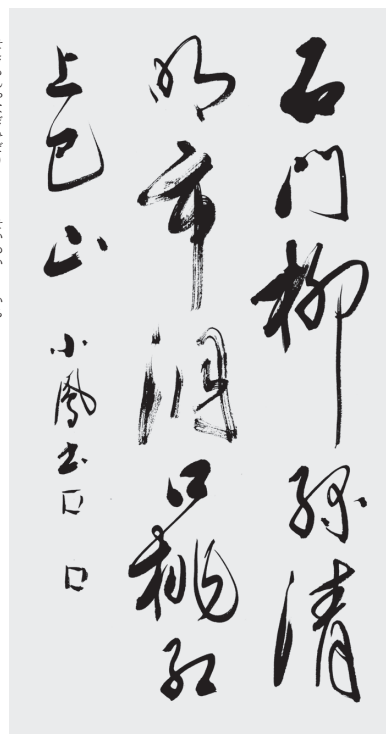
須田一葉書

東風洪染す万家の春



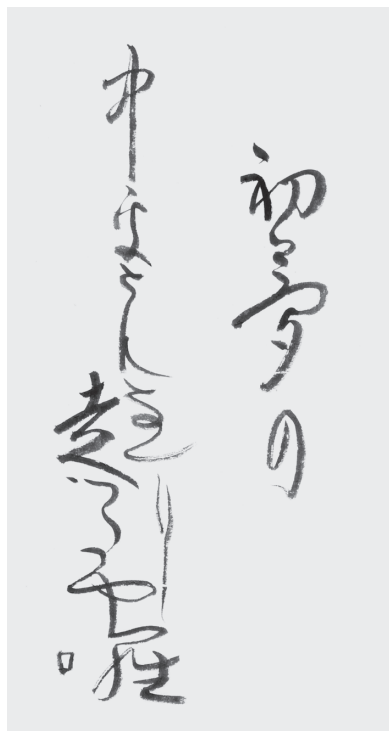
清水翠芳書

石門柳緑なり清明の市  
洞口桃は紅なり上巳の山



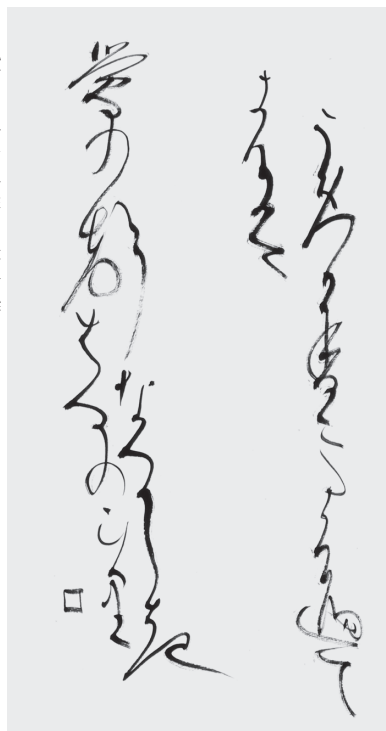
新井龍峰書

初夢の中をどんなに走つたやら  
(飯島晴子)



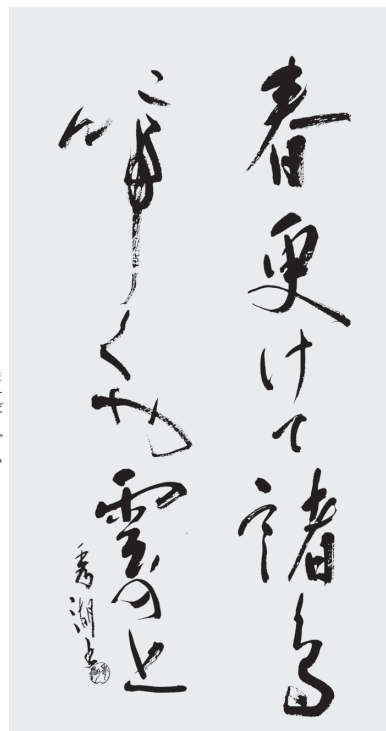
田中貴光書

梅が香にたぐへて聞けば鶯の  
声なつかしき春の山里  
(山家集)



築瀬舟香書

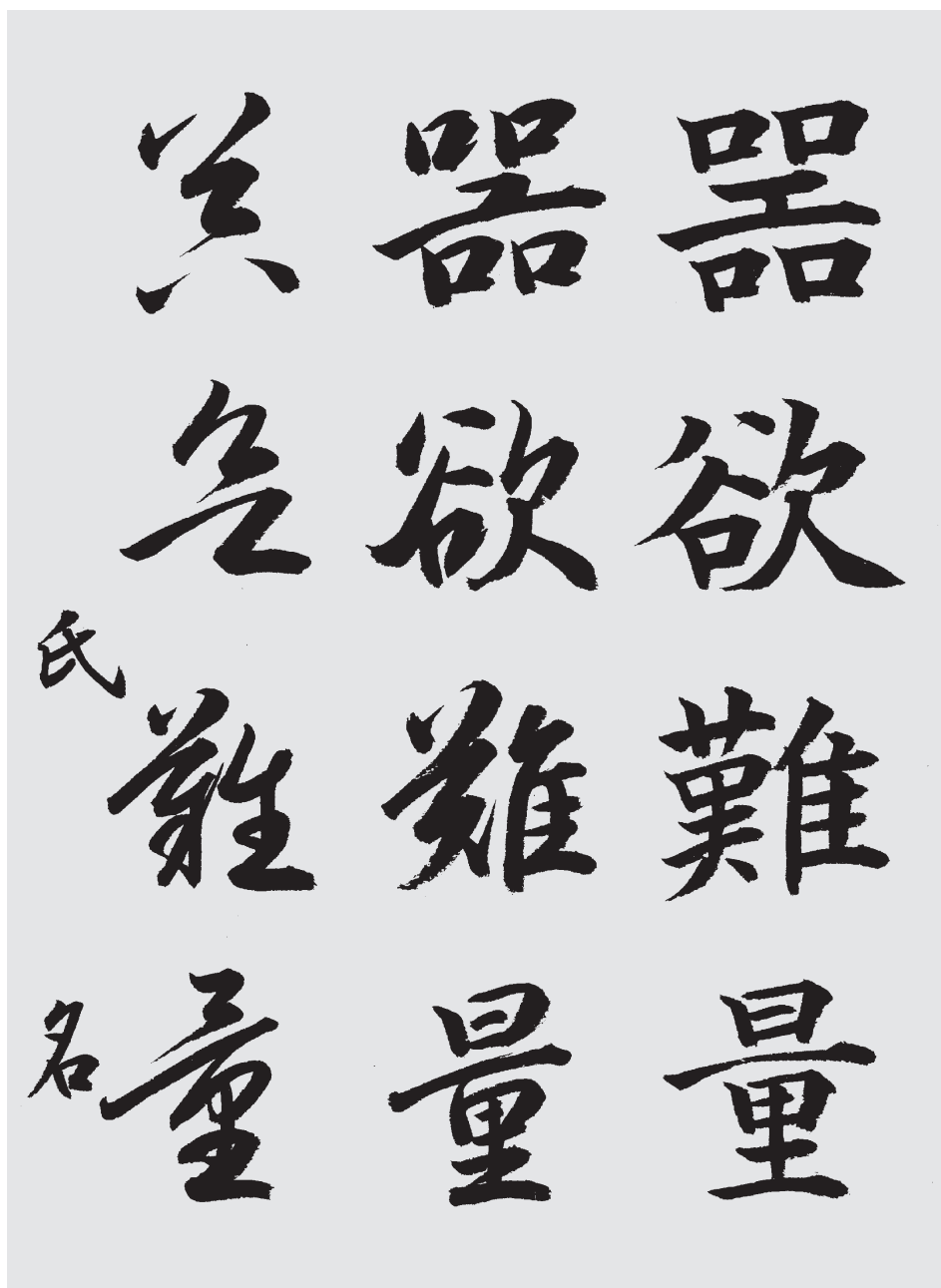
春更けて諸鳥啼くや雲の上  
(前田普羅)



大迫秀湖書

三体千字文を書く (48)

締切り 十二月十九日 (必着)



奥村憲照先生書

## 回作品の出し方

- ▼硬筆部ⅡB5判(二五七mm×一八二mm)以下の紙に書いて下さい。用具は自由です。(黒色に限る)
- ▼毛筆部Ⅱ半紙に書いて下さい。(筆ペン可)
- ▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬毛のどちらか一方に限ります。
- ▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績(毛筆の場合は毛筆漢字の成績)を、作品余白にお書き下さい。
- ▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

◆硬筆の専門誌だった大書心に一般毛筆部が設立されたのは、昭和五十六

(一九八二)年四月のことです。

◆「三体千字文」課題からスタートし、憲照先生の穩健中正で気品のある手本が好評を博しました。

◆短期特別課題として、平成二十四年一月から二年間と平成二十八年の一年間学びましたが、今回はその続きです。原点に返って、基本用筆と正しい崩し方をしっかり学びましょう。

## 〔千字文〕

四言古詩二五〇句、重複しない千字からなっており、聖徳・修養・修身・齊家等について述べられた習字手本であり、初學者の教科書でもあった。

梁の武帝(在位五〇二〜五四九)の命を受け、周興嗣が王羲之の筆跡中からまとめたといわれる。

## 〔解説〕

信使可覆

器欲難量

約束は必ず実行するように。

いかなる難事にあっても、よく適応する器量をもちたいものである。

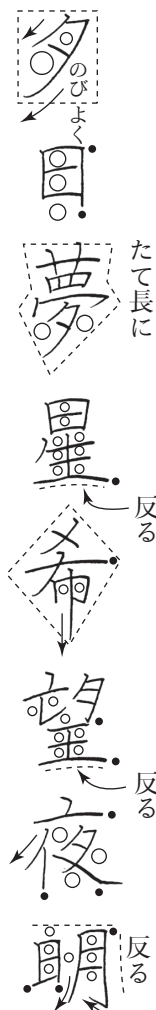
# 一般部規定課題

締切り 12月19日(必着)

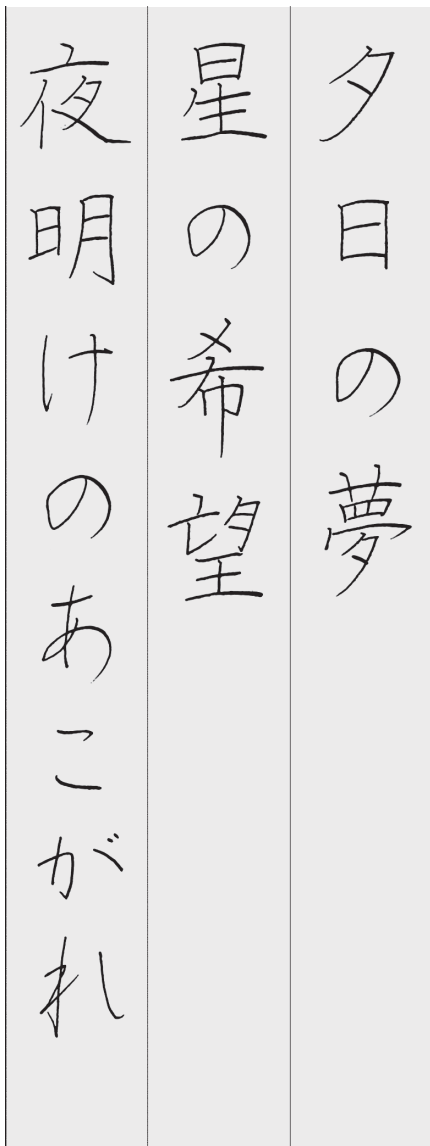
準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕



▶教範・書範は右課題を「行草または草書」で、師範は「行書」で出書して下さい。

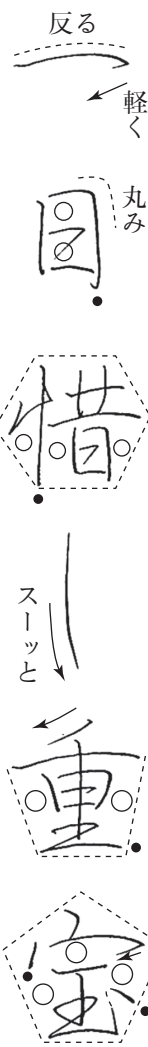


お 郷 翠 光 書  
尾 郷 翠 光

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

〔解説〕



ふ る た ずい えん 書  
古 田 瑞 苑

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

◆1月課題予告(行書)  
自己を  
信頼することこそ  
成功の第一条件なり  
▼教範・書範Ⅱ楷書  
▼師範Ⅱ行草または草書

★夕日の夢(書体Ⅱ楷書)  
西岡光秋(一九三四〜二〇一六)  
作家・評論家  
人間が生きて行くうえで、夢と希望とあこがれは絶対に欠かせないものだと思います。  
心の中を明るく染めてくれる茜色の夕日は、なぜか夢の中にいるようで、また限らない星の中の一つを見つめていると、今考えている事をかなえてくれるような希望がそこにある気がし、すべてが息つき活動を始めようとする夜明けの気配は、生きとし生ける物の活動の気配を与え、これこそ永遠に追い求めたいあこがれの気配なのです。

◆1月課題予告(楷書)  
創造とは  
心の裸を  
示すことである

★この一日は(書体Ⅱ行書)  
道元(一二〇〇〜一二五三)  
曹洞宗開祖  
一日を宝物のように大事に扱うということは、自分自身の人生の集積を大事にするということになります。しかし一日という日時の大切なことを意識の片隅で考えていながらも、大方の人はつい安易に過ごしてしまいがちです。一日を大事に思うという事を自覚するには、朝の目覚めを大切にすることです。朝目覚めた時、今日一日を納得できる一日にすると心に誓うのです。そうすることその一日は、予想もしないほど充実したものとなるでしょう。

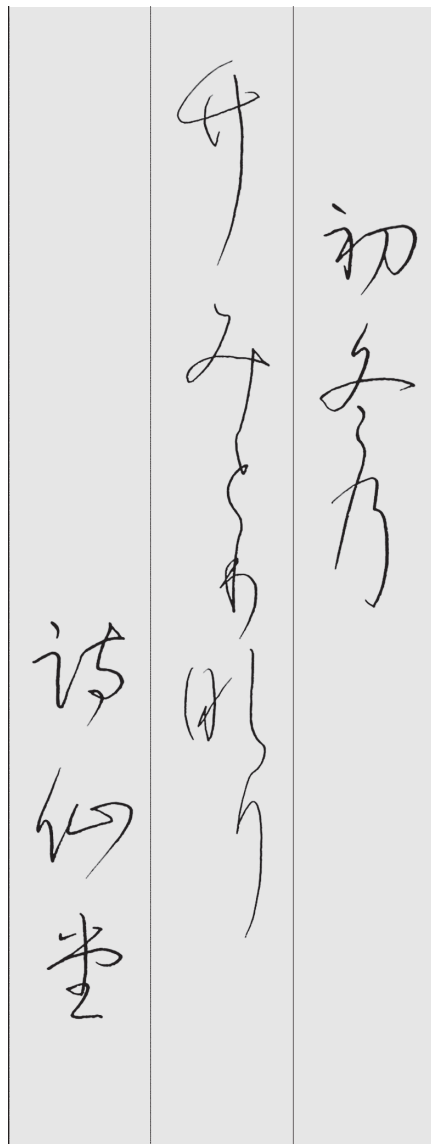
# 一般部かな課題

締切り 12月19日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

初冬の竹緑なり詩仙堂

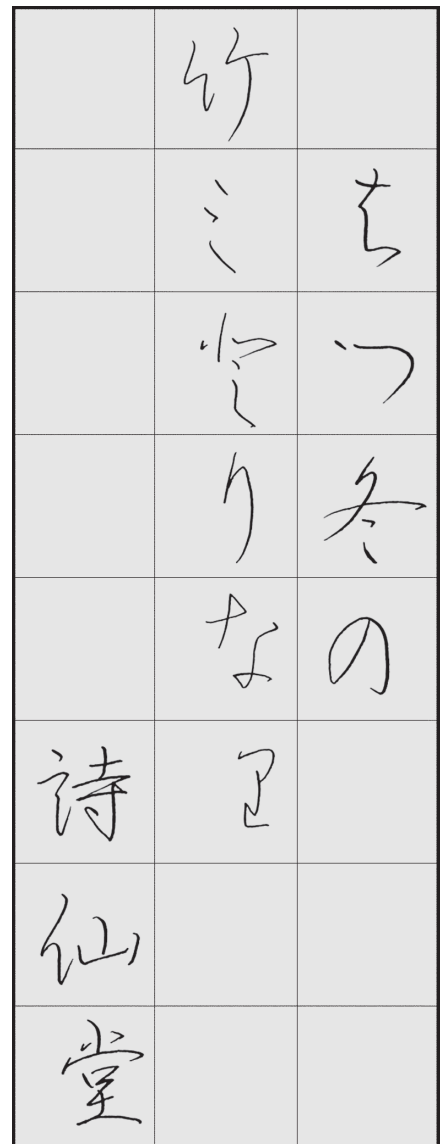


田中貴光書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

初冬の竹緑なり詩仙堂



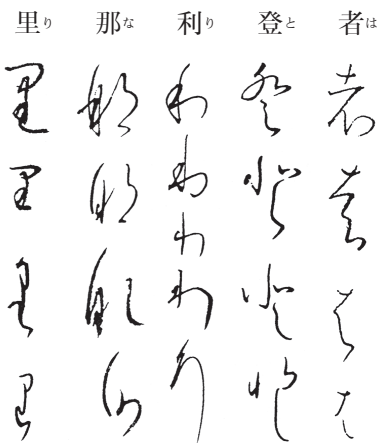
田中貴光書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。

## 〔古筆参考〕



初冬の竹緑なり詩仙堂

(内藤鳴雪)

〔句解〕草木すべてが冬枯れに向かう中であって、詩仙堂のあたりでは、竹がひとときわ緑美しく、丈山隠栖の地にふさわしく、高潔清雅な眺めを呈している。

〔鑑賞〕明治三〇年以前の作。後年作者によれば、〈初冬〉の席題を得て、往事を回想して作ったもので、〈実際の句ではない〉し、また〈さほど得意な句ではない〉ともいうが、『ホトトギス』大10・10、写生句としてのよさを備え、代表句とするに足りる。

〔解説〕三行目が、草書でも強いので、一、二行目は柔らかな線質を使って書いて下さい。

## ◆1月課題予告

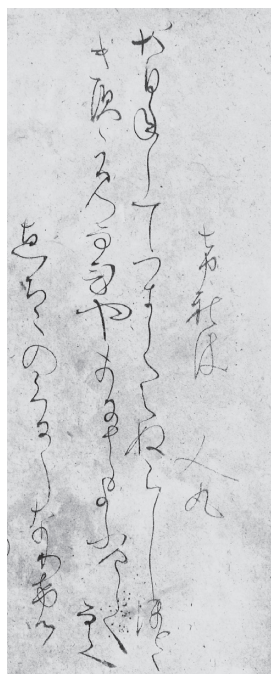
手毬唄かなしきことをうつくしく

(高浜虚子)



〔古筆参考〕

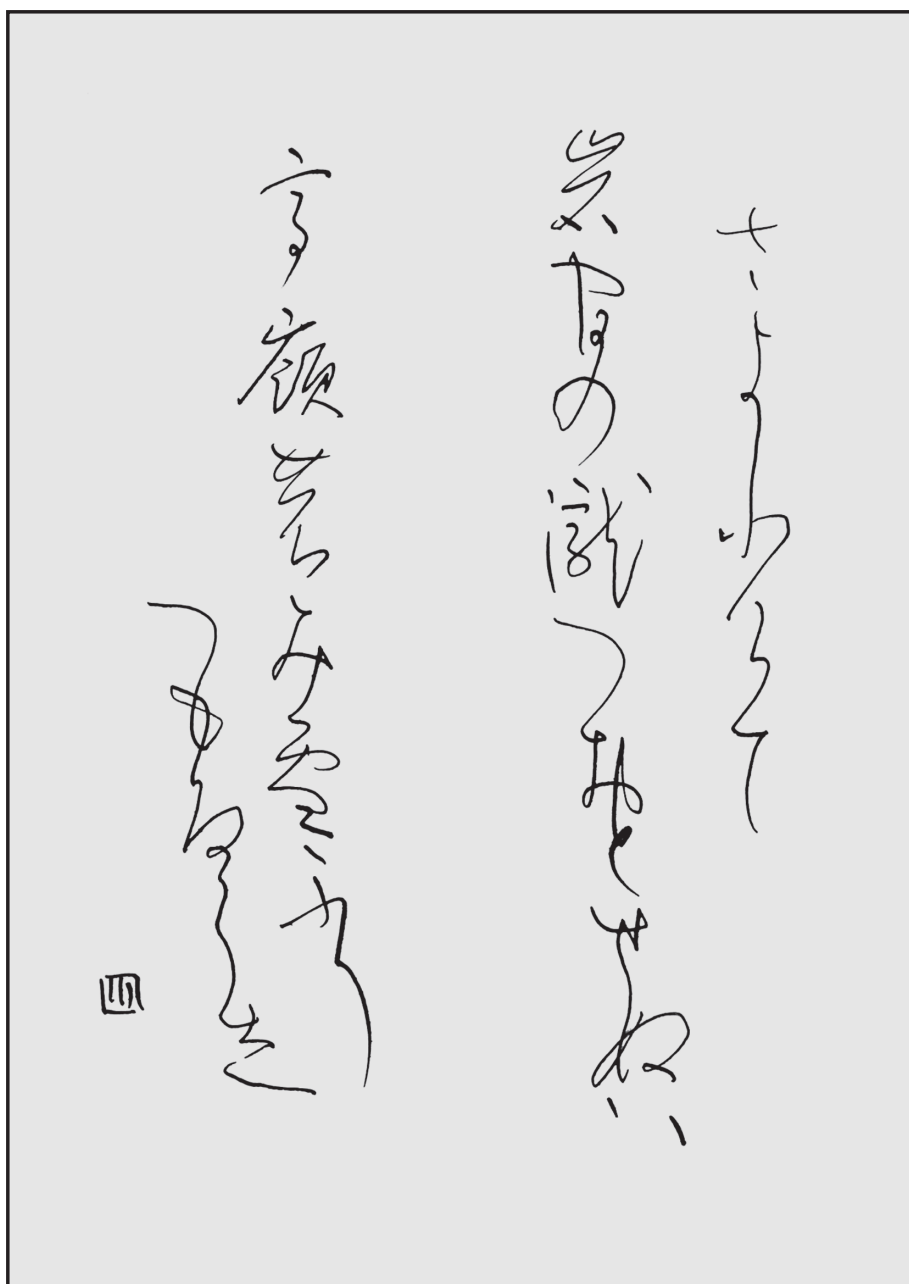
こうしぎれ  
香紙切



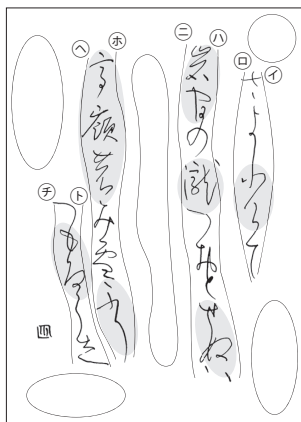
希<sup>れ</sup> 人丸  
ければ  
日<sup>年</sup> たびねしてつきてえぬらしほとゝ  
須<sup>可</sup> ぎすかみなびやまにさよふけてなく  
飛<sup>奈</sup> 恵<sup>久</sup> ちこのくにゝなりける  
利<sup>希</sup>

締切り 十二月十九日（必着）

築<sup>やな</sup> 瀬<sup>せ</sup> 舟<sup>しゅう</sup> 香<sup>こう</sup> 書<sup>しゅ</sup>



〔解説〕



〔解説〕

〔出典〕 近世和歌集  
(日本古典文学大系)

さよふ<sup>介</sup>けて岩間の瀧<sup>たに</sup>つおとせぬ<sup>ハ</sup>は  
高嶺<sup>農</sup>のみ雪<sup>志</sup>降り積もるらし  
〔歌意〕 夜がふけて岩の間を流れ落ちる瀧の音の聞こえないのは、高山に雪が降り積もるためらしい。

◆1月課題予告

雪のうちに春は来にけり鶯のこほれるなみだ今やとくらん

- ・イとロ、イとニ、イとク、イとチ、
- ・ハとニ、ハとク、ハとチ、ホとク、
- ・ホとチ、トとチ、それぞれ呼応。
- ・〇余白大切。
- ・面構成大切。

締切り 12月19日(必着)

自由課題

- ◆ 今月は、文章も自由といたします。
- ◆ 皆さんのアイデアを生かして自由  
に創作して下さい。
- ◆ バラエティに富んだ、個性豊かな  
年賀状をお待ちしています。

賀 正

本年も相変わらず

よろしく御願い申し

あげます

巳のとし元旦 (ご自分の氏名)

※手本は水性ボールペン使用

賀正  
本年も相変わらず  
よろしく御願い申し  
あげます  
巳のとし元旦

横書き課題

おか じま けい せん  
岡 嶋 桂 川 書

日本にスキーが伝えられたのは、  
明治44年頃だといわれている。

群馬県沼田市 氏 名

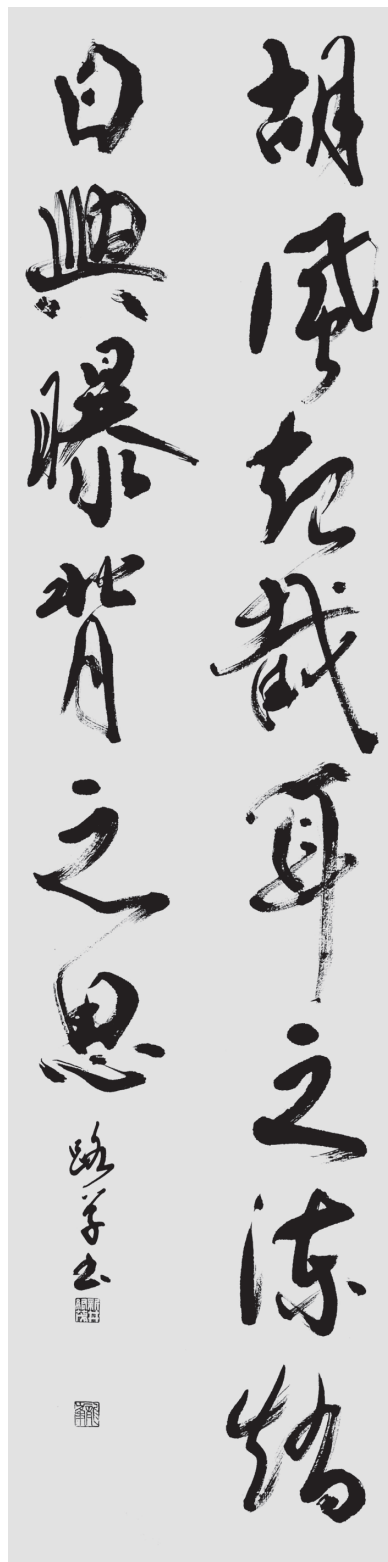
※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

## 一般部毛筆細字課題

## 一般部毛筆条幅課題

締切り 十二月十九日（必着） 半切（一二六cm×三五cm）

新井龍峰書



こふうみをたつのこえをおこし  
胡風起截耳之凍

ちようじつはいをさらすのおいをおこす  
趙日興曝背之恩

〔大意〕凛々として吹く北風は耳をおとす程の寒気を起し、又一方には日気に背をあぶる楽しみを思わしめる。初出品の方へ  
支部名・会員番号・姓名・毛筆漢字成績を、作品左下に必ずお書き下さい。

截 ⇔ 截  
興 ⇔ 興

はや一年の締めくくりの月を迎え  
皆様には該事ご多用のことと  
拝察いたし、心あわたしく  
なりますが何卒ご自愛のほど  
百賀みつゑ

香梅 藤伊 書

半紙（334mm×240mm）

### 〔条幅解説〕

毎月の課題は基本的に十四文字です。おおよそ一行目は八文字、二行目は六文字の構成で進めてまいります。又、墨付けも基本的に五文字ごとに墨付けを行ってまいります。上段者は基本を踏まえつつも手本に捉われず、文字構成、墨付けをバランスよく作品に反映していただきたいと思います。

はや一年の締めくくりの月を迎え  
皆様には諸事ご多用のことと  
拝察いたします。心あわたしく  
なりますが何卒ご自愛のほど  
（ご自分の氏名）  
・印で墨つぎしました。

### 〔条幅・細字作品の出し方〕

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績（天位〜5等）は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

※検定試験三段コースを兼ねる。



新入から1級まで(行書)

清水翠芳書

寒色五陵松

かんしょくごりやうのまつ  
寒色五陵松

〔大意〕松にも寒色がしのばれるは長安にある漢の高祖以下五帝の陵の松である。

〔解説〕

寒 色 五 陵 松

◆1月課題予告(楷書)

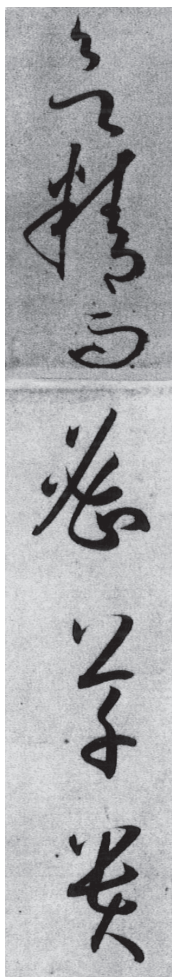
松間照  
新月

準初段から師範まで

須田一葉臨

志子安 志子安

欲  
精  
而  
密  
草  
貴



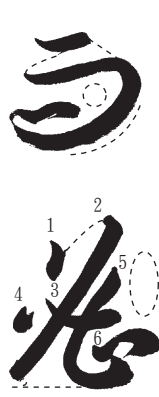
〔出典〕書譜（六八七）

〔筆者〕孫過庭（六四八？～七〇三？）

〔読み〕（隸は）精にして密なるを欲

し、草は（流にして暢なるを）貴び、

〔解説〕



※文献によって字体が異なる場合があります。

◆1月課題予告

十二月二十九

新入から1級まで

浅井機山先生書

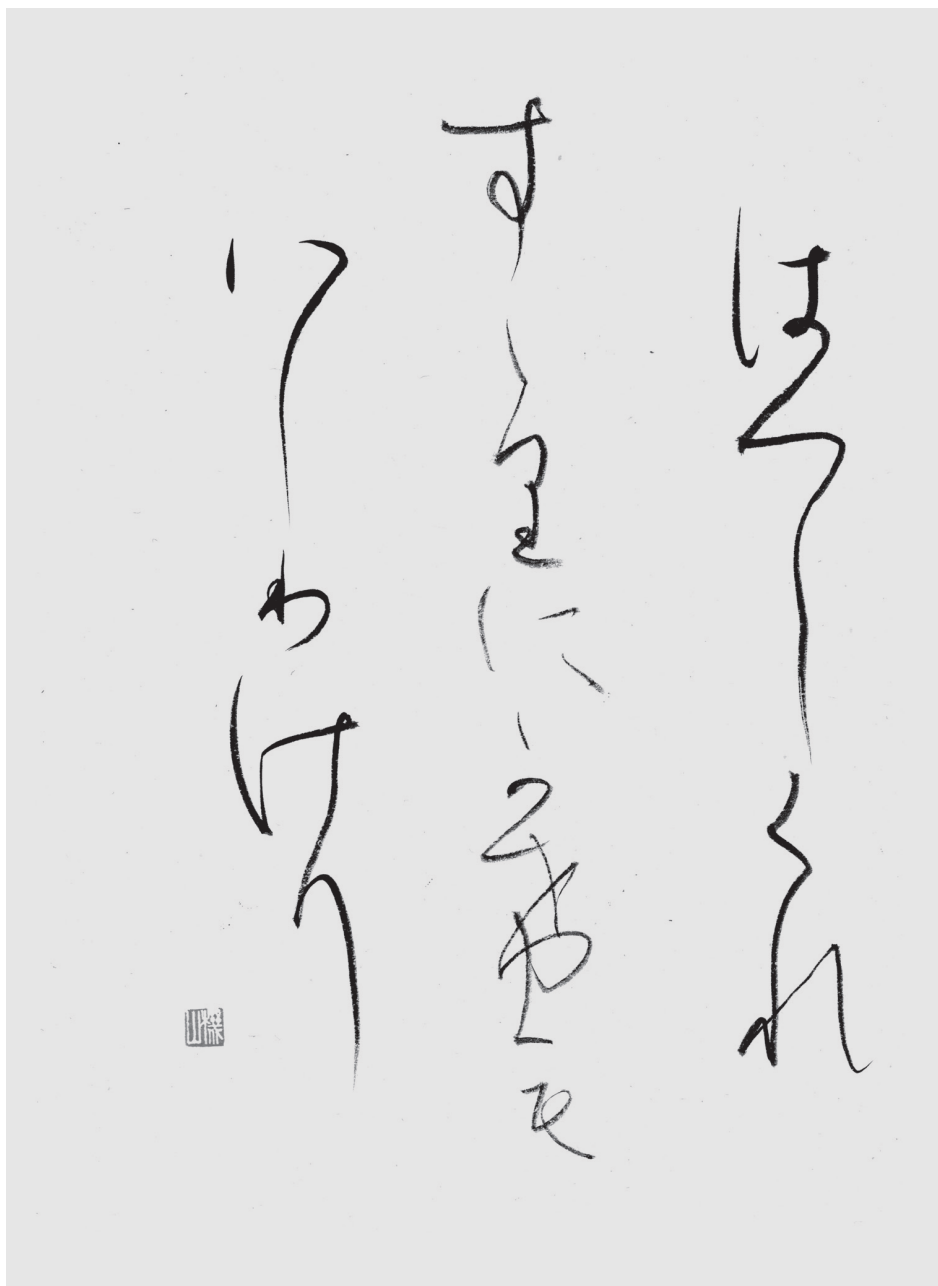
※検定試験1級コースを兼ねる。

はつしくれすゝ里  
可希毛ハし利  
初時雨硯に影も走りけり

加藤楸邨

〔句意〕

初時雨が庭をかげらせて降りすぎる。名  
硯の面にすぎ行く時雨の影が写った、と  
いうのである。光と影が捉えられた句。  
清澄な境地が表れている。



〔古筆参考〕

里

里里里里

可

可可可可

希

希希希希

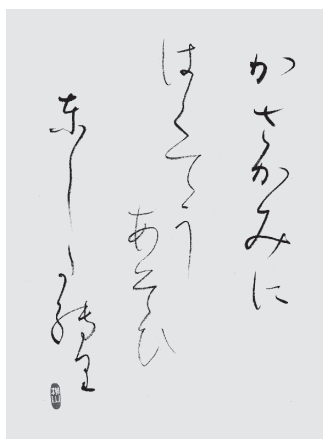
毛

毛毛毛毛

利

利利利利

◆1月課題予告



かきかみ  
風上に白鳥あそび年立てり

準初段から師範まで

浅井機山先生書

※検定試験三段コース以上を兼ねる。

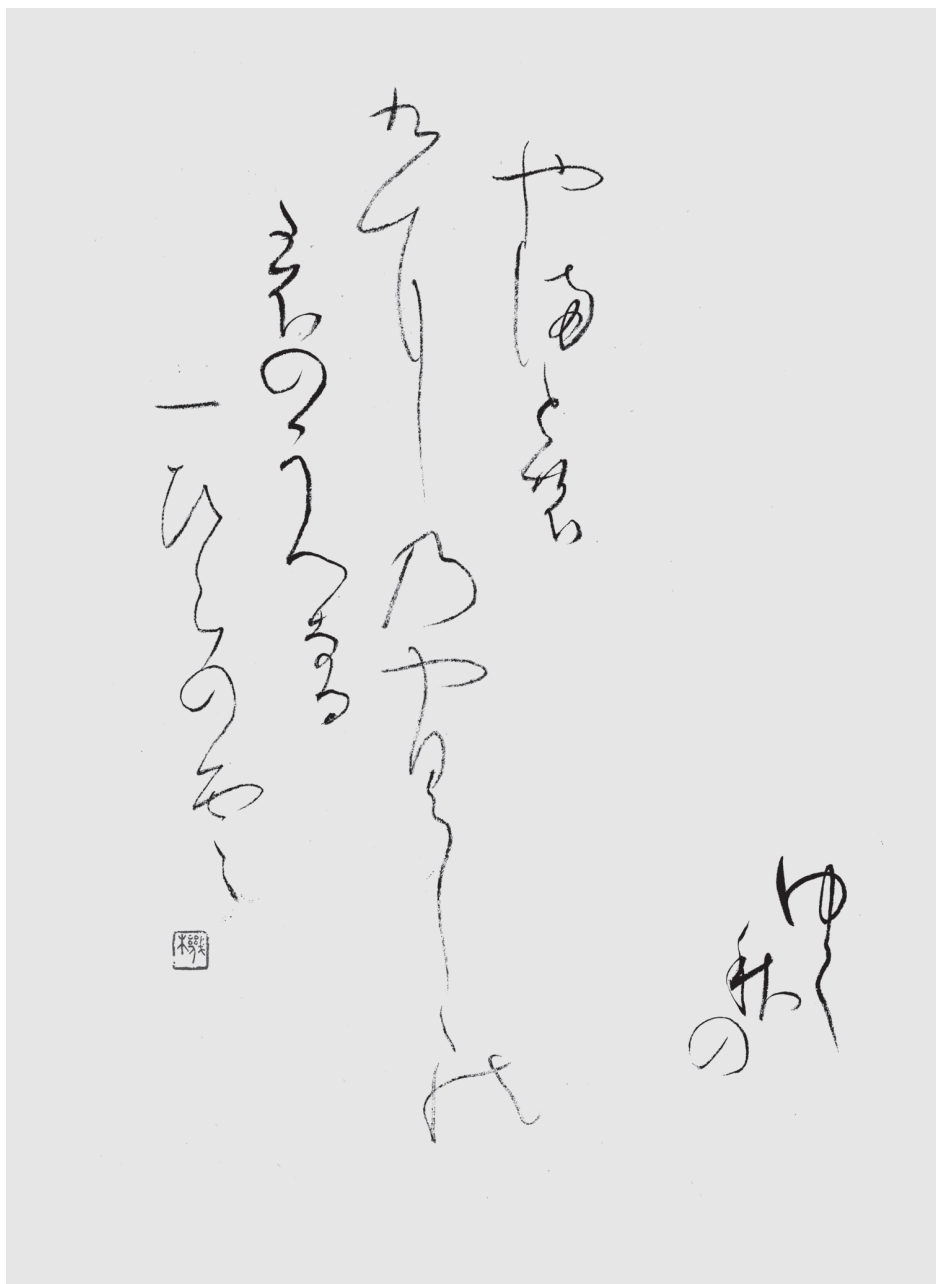
ゆく秋の<sup>や</sup>大和の<sup>農</sup>国<sup>九</sup>の<sup>耳</sup>薬師寺<sup>乃</sup>の<sup>や</sup>能<sup>具</sup>

多<sup>不</sup>塔の上なる一ひらの雲<sup>うへ</sup>

佐々木信綱

〔歌意〕 逝く秋の、奈良薬師寺の東塔の上にかかっ

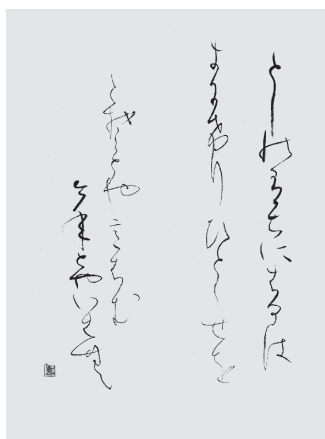
ている、白い一片の雲よ



〔古筆参考〕

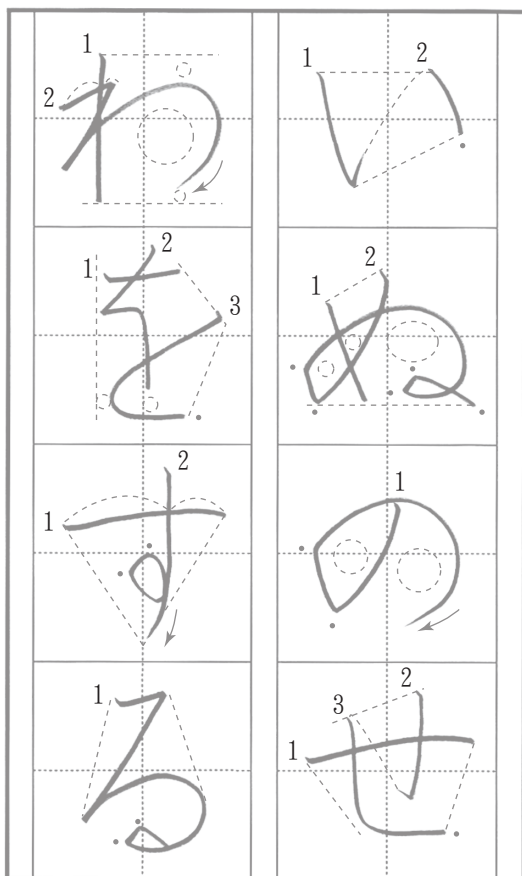
農<sup>の</sup> 若<sup>も</sup> 若<sup>も</sup> 若<sup>も</sup> 若<sup>も</sup>  
 耳<sup>に</sup> り り り  
 具<sup>く</sup> り り り  
 能<sup>の</sup> 能<sup>の</sup> 能<sup>の</sup> 能<sup>の</sup>  
 多<sup>た</sup> 多<sup>た</sup> 多<sup>た</sup> 多<sup>た</sup>  
 奈<sup>な</sup> 奈<sup>な</sup> 奈<sup>な</sup> 奈<sup>な</sup>

◆1月課題予告



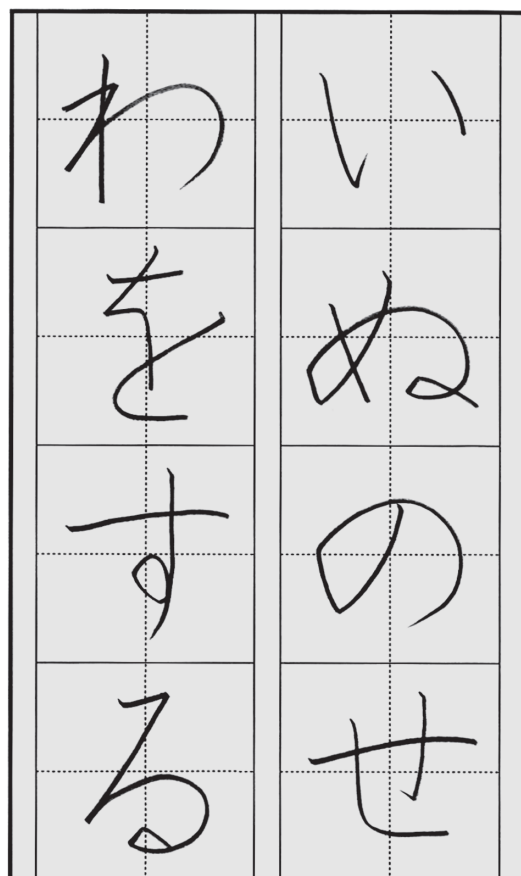
年<sup>とし</sup>のうち<sup>はる</sup>に春<sup>はる</sup>は来<sup>き</sup>にけり一年<sup>ひととせ</sup>を  
 去<sup>こ</sup>年<sup>ぞ</sup>とやいはむ今年<sup>ことし</sup>とやいはむ

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)



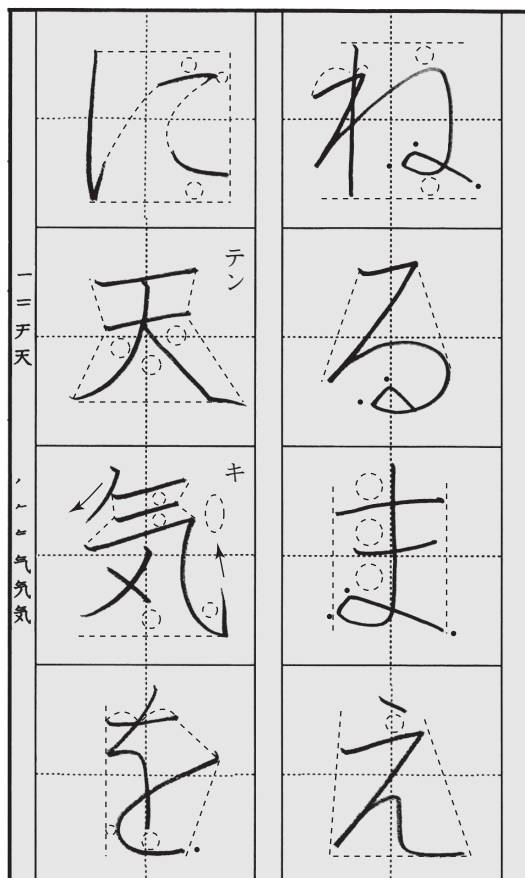
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。  
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



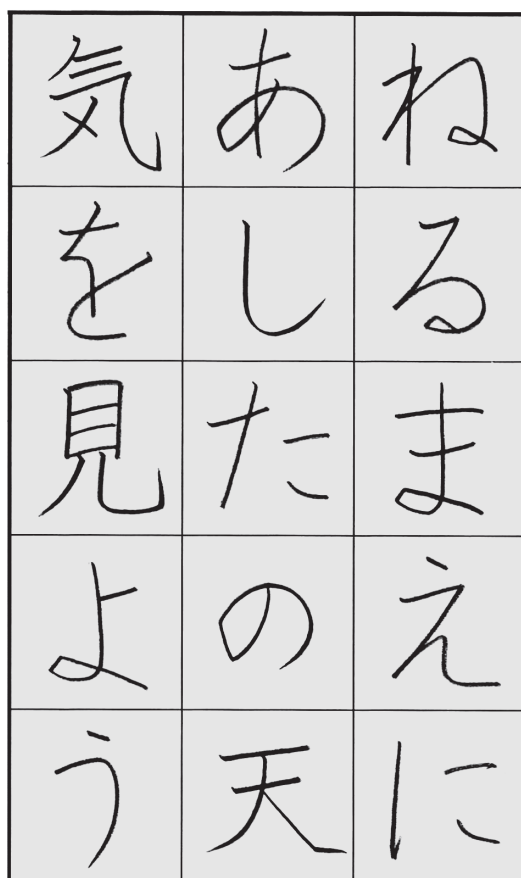
よ  
う  
年

幼年〜小三年まで 三宅容玉書



新入〜1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小  
一  
年

準初段以上



〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)

|   |   |
|---|---|
| か | 春 |
| さ | に |
| く | お |
| よ | 花 |

三才 春 春 春  
はる  
はな  
新入1級

|   |   |   |
|---|---|---|
| 入 | さ | 春 |
| れ | く | に |
| し | よ | お |
| ま | う | 花 |
| す | 手 | か |

小二年  
準初段以上

|   |   |
|---|---|
| ら | 海 |
| 流 | の |
| 氷 | 上 |
| を | か |

うみ  
うへ  
リユウ  
ヒヨウ  
新入1級

|   |   |   |
|---|---|---|
| 氷 | の | 船 |
| を | 上 | に |
| 見 | か | の |
| た | ら | り |
| よ | 流 | 海 |

小三年  
準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

〈用具〉自由(黒色に限る)

|        |   |        |
|--------|---|--------|
| イ<br>チ | 筆 | ふ<br>で |
| 輪      | 立 | た      |
| さ      | て |        |
| し      | や |        |

新入〜1級

|   |   |   |
|---|---|---|
| さ | 立 | と |
| し | て | う |
| を | や | 器 |
| 作 | 一 | で |
| る | 輪 | 筆 |

小四年

準初段以上

|   |   |          |
|---|---|----------|
| 千 | 評 | ヒ<br>ヨウ  |
| 秋 | 判 | バン       |
| 楽 | 良 | よ<br>(い) |
| 行 | 演 | エン       |

解説(よく見て習いましょう)

|   |   |   |
|---|---|---|
| 秋 | 演 | 評 |
| 楽 | げ | 判 |
| に | き | が |
| 行 | の | 良 |
| く | 千 | い |

小五年

(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

小四年以上  
前 嶋 玉 華 書

〈用具〉自由(黒色に限る)

|   |   |
|---|---|
| 工 | 家 |
| 作 | 縮 |
| 品 | 尺 |
| 提 | 木 |

解説(よく見て習いましょう)

|   |   |   |
|---|---|---|
| を | た | 家 |
| 提 | 木 | を |
| 出 | 工 | 縮 |
| す | 作 | 尺 |
| る | 品 | し |

小六年

(全員)

|   |   |   |
|---|---|---|
| 土 | で | 重 |
| 器 | あ | 要 |
| の | る | な |
| 展 | 縄 | 資 |
| 示 | 文 | 料 |

中二・三年

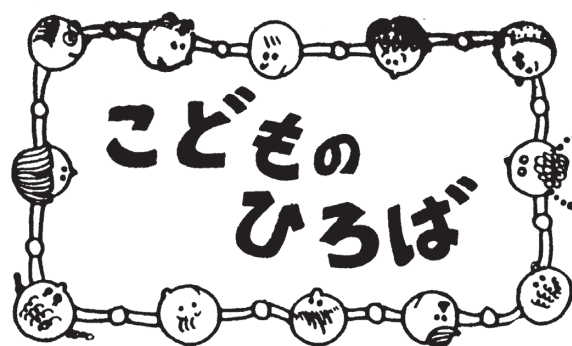
(楷書)

|   |   |   |
|---|---|---|
| 計 | 確 | 試 |
| 画 | 認 | 験 |
| 立 | し | 範 |
| て | 学 | 団 |
| る | 習 | を |

中一年

(楷書)

▼小三年以下の課題 なが い や え こ 長 井 八重子 書



しめきり 12月19日(必着)

習っていない漢字は  
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 よこ やま ゆう れん 横 山 友 漣 書

|                     |                      |                      |   |                    |
|---------------------|----------------------|----------------------|---|--------------------|
|                     |                      |                      |   | 明 <small>あ</small> |
| 一 <small>いち</small> | 勉 <small>べん</small>  | 今 <small>こ</small>   |   | け                  |
| 月 <small>がつ</small> | 強 <small>きょう</small> | 年 <small>とし</small>  |   | ま                  |
| 一 <small>いつ</small> | が                    | も                    | お | し                  |
| 日 <small>たち</small> | ん                    | お                    | め | て                  |
|                     | ば                    | 習 <small>しゅう</small> | で |                    |
|                     | り                    | 字 <small>じ</small>   | と |                    |
| 名 <small>な</small>  | ま                    | と                    | う |                    |
| まえ                  | す                    |                      |   |                    |



|                     |                     |                     |                      |                      |
|---------------------|---------------------|---------------------|----------------------|----------------------|
|                     |                     |                     |                      | 新 <small>あらた</small> |
| 元 <small>がん</small> | 頑 <small>がん</small> | 飛 <small>ひ</small>  | 様 <small>さま</small>  | し                    |
| 旦 <small>たん</small> | 張 <small>ば</small>  | 躍 <small>やく</small> | 々 <small>さまた</small> | い                    |
|                     | り                   | 出 <small>で</small>  | な                    | 年 <small>とし</small>  |
|                     | ま                   | 来 <small>き</small>  | 事 <small>こと</small>  | も                    |
| 名 <small>な</small>  | す                   | る                   | に                    |                      |
|                     |                     | よ                   | 挑 <small>ちょう</small> |                      |
| 前 <small>まえ</small> |                     | う                   | 戦 <small>せん</small>  |                      |
|                     |                     | に                   |                      |                      |

今年の目標...



◇作品の出し方

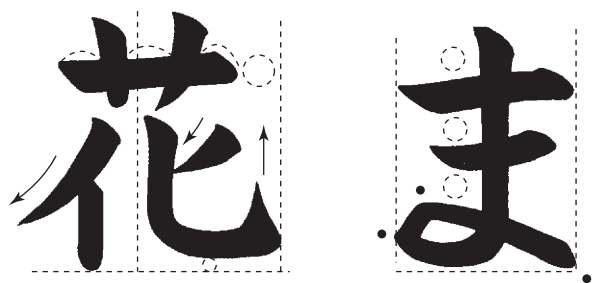
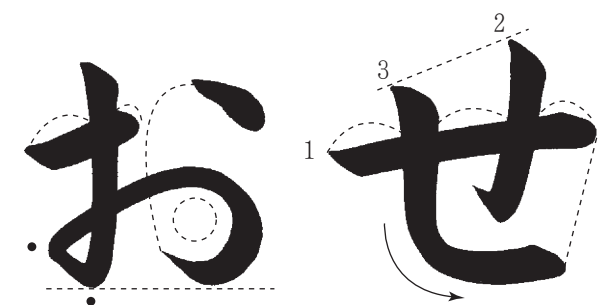
- 一、選定用紙(五行・四行)に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名(校名)学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。(黒色に限る)
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。

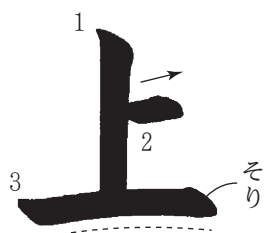
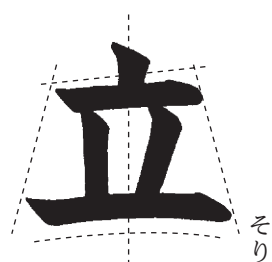
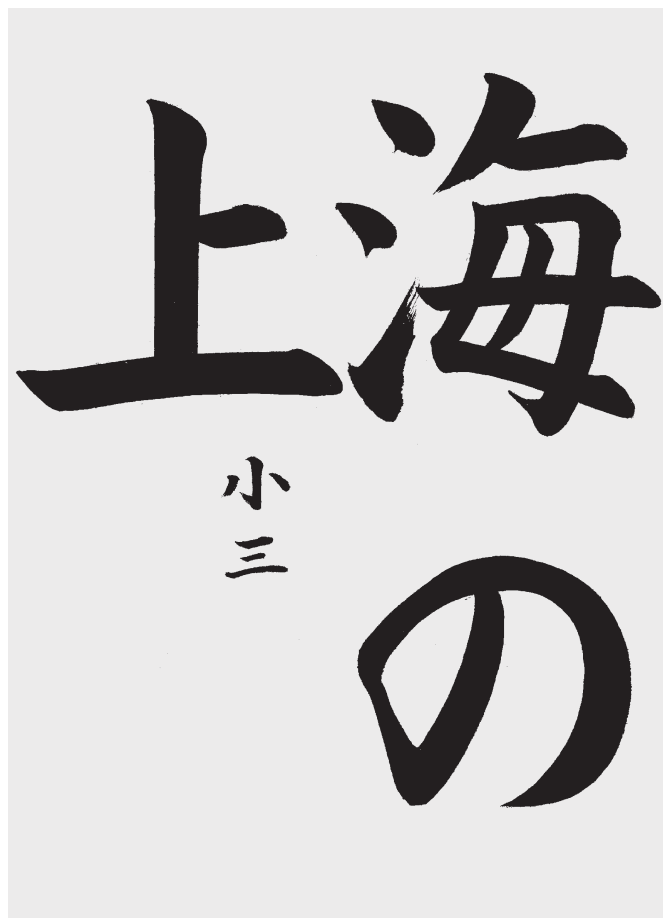
◎お手本はつけペン使用

※今年・一日＝単語としてこのように読みます。

◎お手本はえんぴつ使用







小三・小五年

水野碧友書



中二三  
土縄  
器文

小六  
提作  
出品

画

作

縄

提

中心  
器

習

中一  
計学  
画習

小六  
中一・三年

永谷恵子書

# 第87回 毛筆検定試験受験要項

12月19日締切り

## ■受験にあたってご注意

▼検定受験者は、十二月のすべての毛筆月例競書をお休み下さい。(短期特別課題は出品可)

▼一覧表の最高昇段級位というのは、各コースで取得できる最高の段、級位を示したものです。現在この段級位にある人は、それ以上のコースを受験して下さい。

## ■出品方法

▼作品は、必ず一覧表に明示した順序にそろえ、右肩をホッチキスでとじて下さい。

ただし教範コースは、上から、①漢字②かな③細字④教育部手本課題⑤条幅⑥書歴(初回のみ。詳細は本部へ問合せ)の順にそろえ、ゼムクリップでとじて下さい。

▼検定作品と月例作品を同封する場合は、必ず、二つのビニール袋に分けて入れ、表に「検定」「月例」と明記して混同しないようにお願いします。

▼支局・支部には「検定作品出品明細書」を一月号配本時に同封しますから、所事項記入の上、作品、受験料と同封して下さい。さらに、正確を期す上から受験者名簿を添付して下さい。

▼封筒に「検定受験」と朱書して下さい。

▼受験料は、為替か小為替で作品と同封するか、現金書留による送金に限ります。(振替、その他は不可)

●締切り 令和六年十二月十九日(本部必着)

●送り先 大書心会検定試験係

●発表 令和七年三月号

▼肉筆手本希望者は、ご希望の先生へ、現金書留(返信用封筒同封)でお申込み下さい。

(左記料金は、一点についての金額です。ただし、コピー手本・添削料は四割の価格といたします)  
※条幅の原寸大のコピー手本はありません。

・一般部1級・三段コース

・活字課題

| 漢字半紙   | 細字・かな  | 漢字半紙   | 細字幅紙   | 条幅     | 五段コース以上<br>会友コース以上 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------------------|
| 一、二〇〇円 | 一、八〇〇円 | 一、四〇〇円 | 一、〇〇〇円 | 三、八〇〇円 | 二、〇〇〇円             |
| 九〇〇円   | 八〇〇円   | 七〇〇円   | 六〇〇円   | 五〇〇円   | 四〇〇円               |

## ◆一般部1級・三段コース

| コース | 課題    | 最高昇段 | 課題                 | 漢字 |    | かな | 細字 | 計 | 受験料   |
|-----|-------|------|--------------------|----|----|----|----|---|-------|
|     |       |      |                    | 楷書 | 行書 |    |    |   |       |
| 一般部 | 1級コース | 1級まで | 下掲課題<br>かなは月例級位課題  | 1  | 1  | 1  | —  | 3 | 1,600 |
|     | 三段コース | 三段まで | 漢字は下掲、かな・細字は月例級位課題 | 1  | 1  | 1  | 1  | 4 | 2,100 |

〔三段コース漢字課題〕

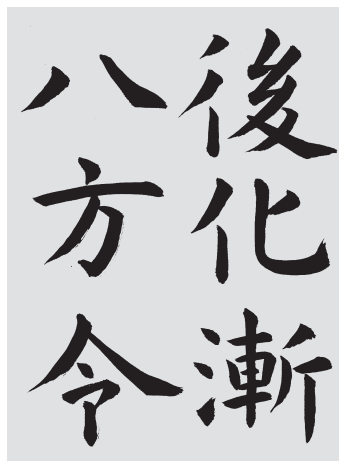
〔1級コース漢字課題〕

《集字聖教序》

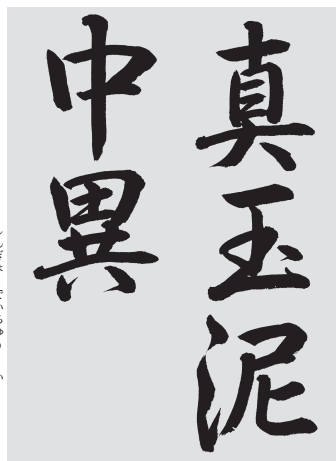
《孔子廟堂碑》

《行書》

《楷書》



真玉泥中に異なり



神谷葵水先生臨

清水翠芳書

◆一般部五段・書範・教範コース

◆教育部普通・会友コース

| コース   | 課 題 | 受 験 資 格             | 最 高 昇 位                   | 課 題    | 漢 字 |    |    | かな | 細 字 | 条 幅 | 教 育 手 本 | 計 | 受 験 料 |
|-------|-----|---------------------|---------------------------|--------|-----|----|----|----|-----|-----|---------|---|-------|
|       |     |                     |                           |        | 楷書  | 行書 | 草書 |    |     |     |         |   |       |
| 一 般 部 | 五 段 | 有 段 者               | 五段まで                      | 下記（活字） | 1   | 1  | 1  | 1  | 1   | —   | —       | 5 | 2,700 |
|       | 書 範 | 有 段 者               | 書範まで                      | 下記（活字） | 1   | 1  | 1  | 1  | 1   | 1   | —       | 6 | 3,200 |
|       | 教 範 | 書 範                 | 教 範                       | 下記（活字） | 1   | 1  | 1  | 1  | 1   | 1   | 2       | 8 | 4,200 |
| 教 育 部 | 普 通 | —                   | 12月しめきりの月例競書課題            |        |     |    |    |    |     |     |         | 1 | 420   |
|       | 会 友 | 四段以上の中学生<br>準会友の小学生 | 12月しめきりの月例競書課題と下記活字課題（行書） |        |     |    |    |    |     |     |         | 2 | 740   |

◎師範試験は、毎年2月に単独で実施しています。

■五段・書範・教範コース受験のきまり

- 一、五段・書範・教範コース受験は、上掲一覧表のと  
おりの受験有資格者に限ります。
- 一、教範コースは単位合格が認められますが、単位を取  
得されていても、受験の際は改めて全科目を提出し  
て下さい。ただし、合格科目については、審査の対  
象から除きます。
- 一、単位合格は、二年以上検定試験を受験しないと無効  
になります。

「五段・書範・教範コース課題」

漢 字

五段コース以上共通（半紙）

図版で示した三つの法帖の各六文字を、それぞれ半紙に  
臨書して下さい。

▼孔子廟堂碑

春 而 流 惠 澤 然

▼集字聖教序

窺 天 鑑 地 庸 愚

▼書 譜

鍾 當 抗 行 或 謂

■かな 三段コース以上共通（かな用半紙）

次の和歌を、かな半紙にちらし書きにして下さい。  
◎ゆく秋の<sup>あき</sup>大和の<sup>やまと</sup>国の<sup>くに</sup>薬師寺の<sup>やくしじ</sup>  
塔の上なる<sup>たのうへ</sup>一ひらの雲<sup>ひと</sup>（佐々木信綱）  
※11頁参照

■条 幅 書範・教範コース共通（画仙紙半切）

次の語句を、画仙紙半切に体裁よく書いて下さい。

刺<sup>しゅう</sup>繡<sup>を</sup>五<sup>さす</sup>紋<sup>もん</sup>添<sup>じやく</sup>弱<sup>せん</sup>線<sup>を</sup>  
吹<sup>か</sup>葭<sup>ふく</sup>六<sup>くりく</sup>瑄<sup>かん</sup>動<sup>ひかい</sup>飛<sup>を</sup>灰<sup>うご</sup>

■細 字 五段コース以上共通（半紙）

次の語句を、行書または行草体で体裁よく書いて下  
さい。

壁に掛けたカレンダーもいよいよ  
最後の一枚となりました 迎春の  
お支度にお忙しい折 くれぐれも  
お風邪など召されませんように

■教育部手本課題 教範コースのみ（半紙）

小 1 かめ

小 6 火 災  
訓 練

※氏名は、各学年に合わせしてお書き下さい。  
（小1年はひらがなで書くなど）

■会友コース課題

発 音

（行 書）

▼十二月締切りの自分の学  
年の月例課題一枚  
上の語句の行書一枚  
計二枚を一組とし、右肩  
をとじて出品のこと。